モリト株式会社

2024年11月期 決算概要

東証プライム　証券コード9837

2025年1月

あたりまえに、新しさ。 MORITO

© 2025 MORITO CO.,LTD.

トップメッセージ

- 2期連続、売上高・営業利益・経常利益が過去最高を更新、
  第8次中計の営業利益目標は2025年11月期に早期達成を見込む

- 売上総利益率が29％を超えるなど、第8次中計に掲げる
  「筋肉質な利益体制の構築」を目指した取り組みは大きな成果が出ており、
  2025年11月期からは売上高アップにより注力し、中計目標600億円達成へ

- Ms.ID子会社化を実施、2025年11月期はシナジー創出に向け体制構築、
  2026年11月期以降で売上高・利益率ともに成長の加速を目指す

- 売上高・利益の両方の向上のため、M&Aを含むアクティブな取り組みの準備・
  投資を行い、ROEの継続的向上に努める

© 2025 MORITO CO.,LTD.

CONTENTS

1 2024年11月期 業績概要

2 2024年11月期 セグメント情報

3 2025年11月期 通期業績予想

4 第8次中期経営計画の進捗

5 事業トピックス

6 株主還元策

7 (参考資料)会社概要

© 2025 MORITO CO.,LTD.

1

2024年11月期 業績概要

© 2025 MORITO CO.,LTD.

2024年11月期　通期業績サマリー

（百万円）	（参考）2022	2023	2024	前年同期比	
				増減額	増減率
売上高	48,478	48,529	**48,537**	+7	+0.02%
売上総利益	12,487	13,265	**14,138**	+872	+6.6%
（%）	(25.8%)	(27.3%)	**(29.1%)**		
経費	10,370	10,801	**11,269**	+468	+4.3%
（%）	(21.4%)	(22.3%)	**(23.2%)**		
営業利益	2,116	2,464	**2,868**	+404	+16.4%
（%）	(4.4%)	(5.1%)	**(5.9%)**		
経常利益	2,342	2,771	**3,003**	+231	+8.4%
（%）	(4.8%)	(5.7%)	**(6.2%)**		
当期純利益	1,674	2,217	**2,572**	+354	+16.0%
（%）	(3.5%)	(4.6%)	**(5.3%)**		

© 2025 MORITO CO.,LTD.

2024年11月期　前年同期比　主な変動要因

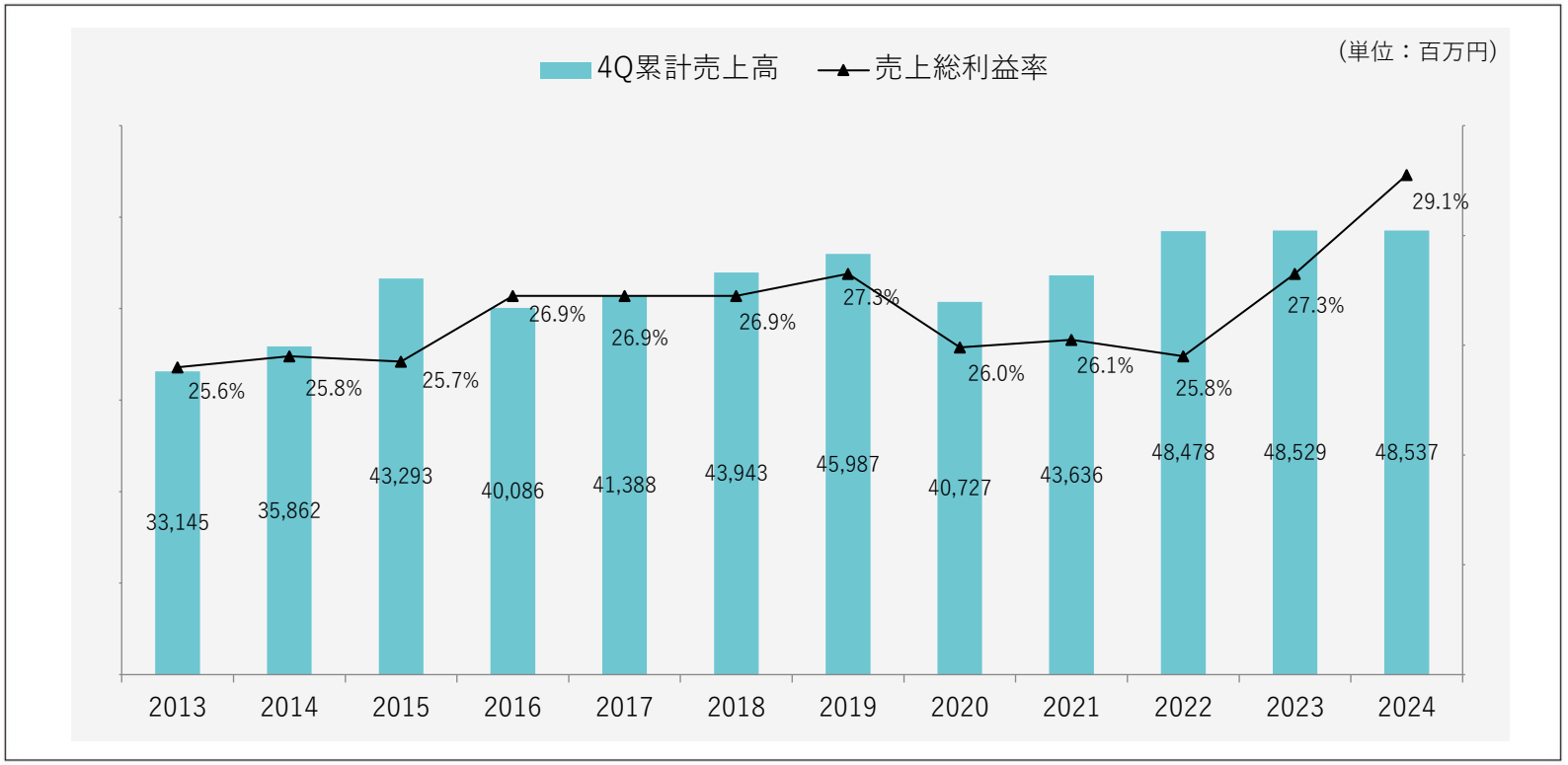
売上高は微増、売上総利益を中心に利益面が大幅に伸長。

	前年同期比	主な変動要因 (＋)改善要因　(－)悪化要因
売上高	+7百万円 ＋0.02％	(＋)欧米向け商品の在庫調整が回復 (－)アパレル・プロダクト関連事業を中心に国内の在庫調整あり (－)一部自動車メーカーの生産停止の影響が解消せず
売上総利益	+872百万円 ＋6.6％	(＋)収益性を高めるための営業活動・販売条件の見直しなど、各営業担当の意識改革が継続 (＋)プロダクトミックスの影響
営業利益	+404百万円 ＋16.4％	(＋)売上総利益率の改善 (＋)運送費の削減 (－)旅費交通費、人件費など経費の増加
経常利益	+231百万円 ＋8.4％	(＋)営業利益の増加
当期純利益	+354百万円 ＋16.0％	(＋)投資有価証券（政策保有株式）の売却による特別利益の増加

© 2025 MORITO CO.,LTD.

2024年11月期　売上高・売上総利益率の推移

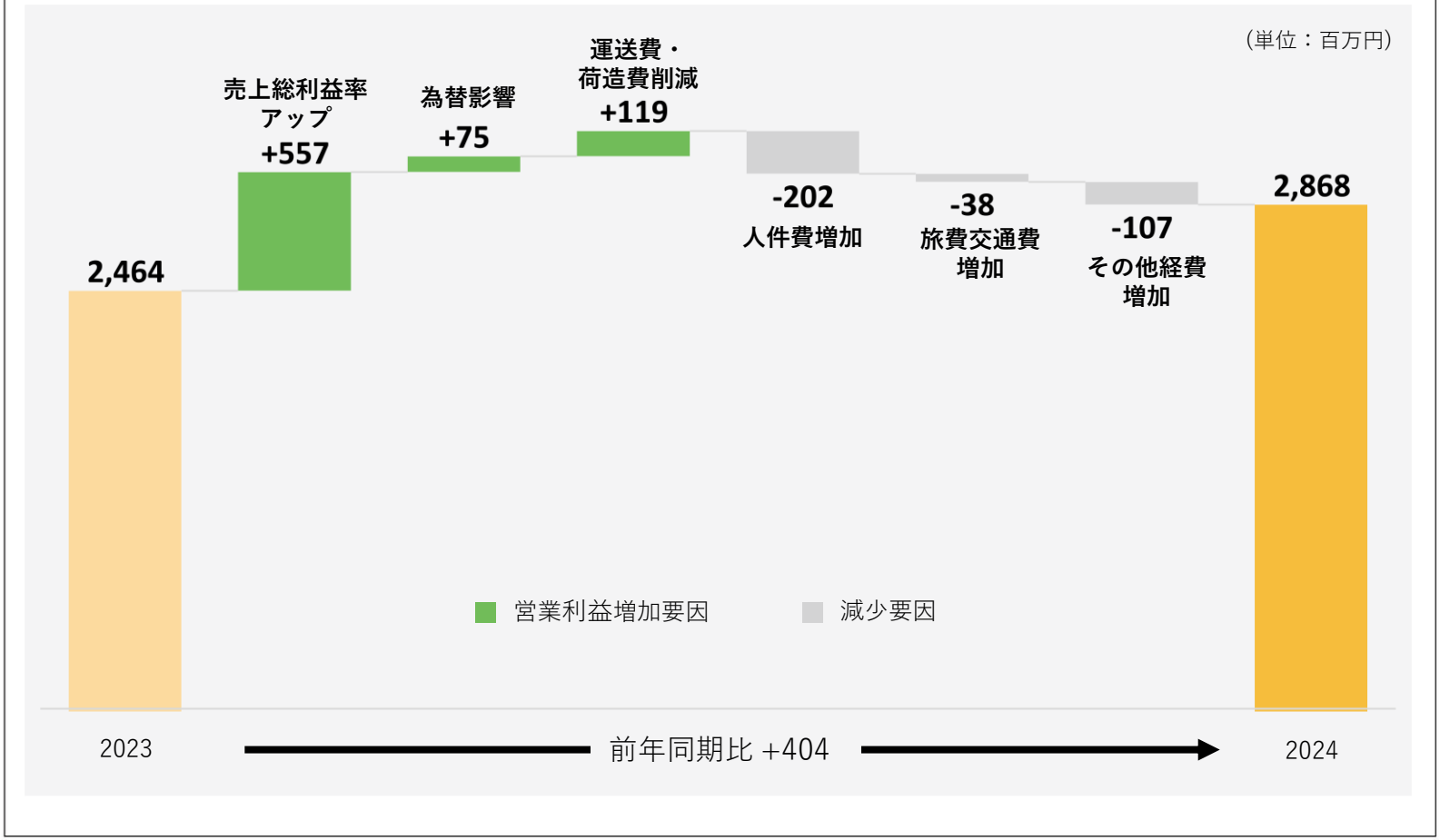
【売上総利益率 プラス要因】
・国内を中心とした各事業の販売条件見直し
・プロダクトミックスの影響
・各営業担当の利益率への意識改革が継続



© 2025 MORITO CO.,LTD.

2024年11月期　営業利益増減（前年同期比）

売上総利益率の改善に加え、運送費削減の効果あり。人件費は増加傾向。



© 2025 MORITO CO.,LTD.

2024年11月期　連結貸借対照表

CCCの改善が進む。投資有価証券の売却益あり、今後投資戦略に基づき活用予定。

（単位：百万円）

	2023	2024
資産の部		
流動資産	31,149	32,049 (+900)
固定資産	20,280	20,427 (+147)
資産合計	51,429	52,476 (+1,047)

	2023	2024
負債の部		
流動負債	8,589	8,886 (+297)
固定負債	4,382	4,313 (-69)
負債合計	12,972	13,200 (+228)
純資産の部		
株主資本	32,673	33,129 (+455)
その他の包括利益累計額	5,760	6,147 (+387)
新株予約権	23	0 (-23)
純資産合計	38,457	39,276 (+819)
負債純資産合計	51,429	52,476 (+1,047)

自己資本比率　2024/11期：74.8%
（2023/11期：74.7%）

© 2025 MORITO CO.,LTD.

2024年11月期　連結キャッシュフロー計算書

在庫・CCC改善への意識改革が寄与。投資有価証券の売却益あり。

（単位：百万円）

	2023	2024
現金及び現金同等物期首残高	10,396	13,009
営業活動によるキャッシュフロー	4,399	4,620
投資活動によるキャッシュフロー	77	638
財務活動によるキャッシュフロー	△1,983	△2,680
現金及び現金同等物に係る換算差額	119	△127
現金及び現金同等物の増減額	2,613	2,450
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	-
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	-	-
現金及び現金同等物期末残高	13,009	15,460

© 2025 MORITO CO.,LTD.

2

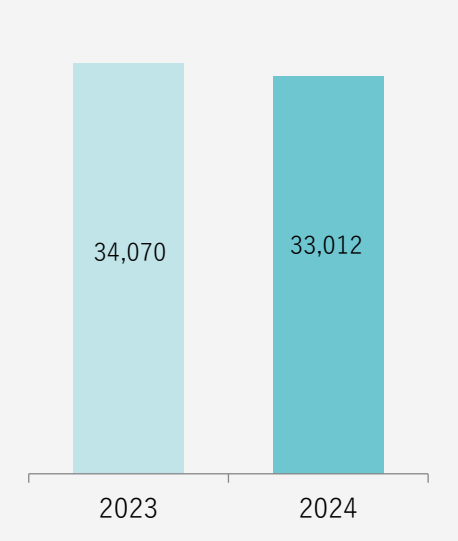
2024年11月期 セグメント情報

© 2025 MORITO CO.,LTD.

2024年11月期　地域別売上高・外部環境

(単位：百万円)

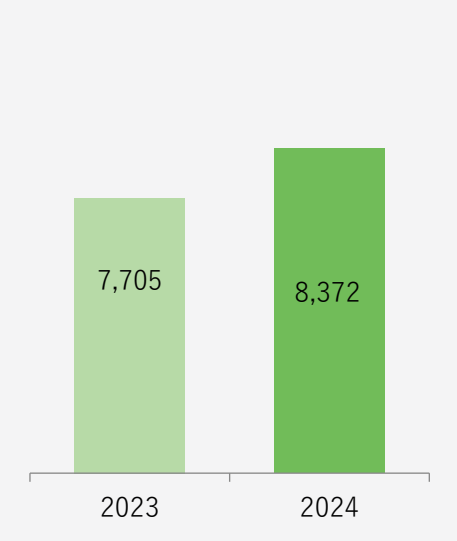
日本
売上構成比：68%



前年同期比 -1,058百万円
(-3.1%)

コロナ後のリバウンド需要一巡、
需要停滞・在庫調整あり

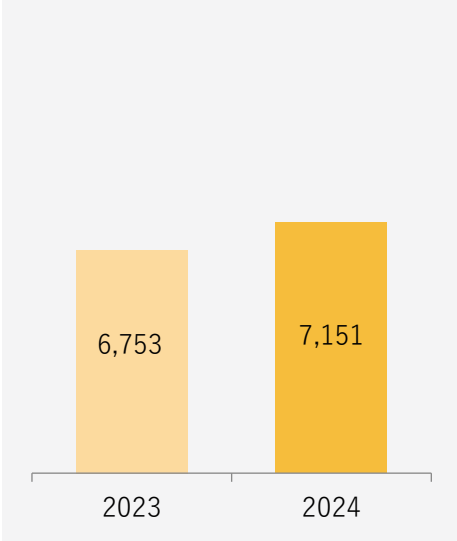
アジア
売上構成比：17%



前年同期比 +667百万円
(+8.7%)

現地生産・調達の増加

欧米
売上構成比：15%

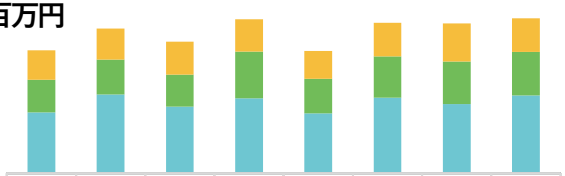
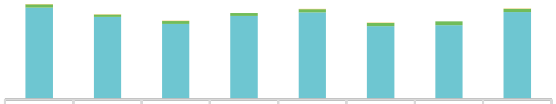
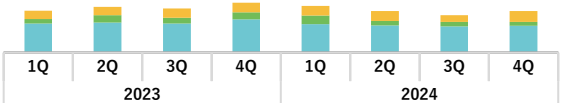


前年同期比 +398百万円
(+5.9%)

在庫調整からの回復

© 2025 MORITO CO.,LTD.

2024年11月期　事業別売上高・コメント

売上高	前年同期比	コメント
アパレル関連事業 **24,226百万円** 	**+1,020百万円** **+4.4%**	【日本】 (+)欧米メディカルウェア向け付属品、国内バッグブランド、高級アウトドアブランドなど一部ブランド向け付属品の増加 (+) 環境配慮型商品の好調 (−)コロナ後のリバウンド需要一巡、需要停滞・在庫調整、暖冬により作業服・カジュアルウェアを中心に苦戦 【アジア】 (+)中国・香港でのカジュアルウェア・作業服向け付属品の増加 (+)ベトナムでのスポーツシューズ向け付属品、作業服関連商品の増加 【欧米】 (+)在庫調整から回復、メディカルウェア・作業服向け付属品の増加
プロダクト関連事業 **17,405百万円** 	**-450百万円** **-2.5%**	【日本】 (+)均一価格小売店向け商品、文具関連商品の増加 (+)厨房機器レンタル・販売・清掃事業の増加 (−)建築現場向け安全関連商品、医療機器関連商品の減少 (−)円安・在庫調整などの影響でスノーボード・サーフィン関連商品の減少 【アジア】 (+)タイでの玩具向け付属品の増加
輸送関連事業 **6,904百万円** 	**-562百万円** **-7.5%**	【日本】 (−)国内自動車生産台数が停滞、日系自動車メーカー向け自動車内装部品の減少 【アジア】 (−)中国での日系自動車メーカーの不振により減少 【欧米】 (+)北米での量産立上げ開始、日系自動車メーカー向け自動車内装部品の増加

	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
	2023				2024			
欧米	1,242	1,302	1,381	1,358	1,174	1,410	1,599	1,405
アジア	1,367	1,458	1,345	1,951	1,444	1,736	1,783	1,821
日本	2,548	3,310	2,791	3,145	2,512	3,167	2,898	3,270

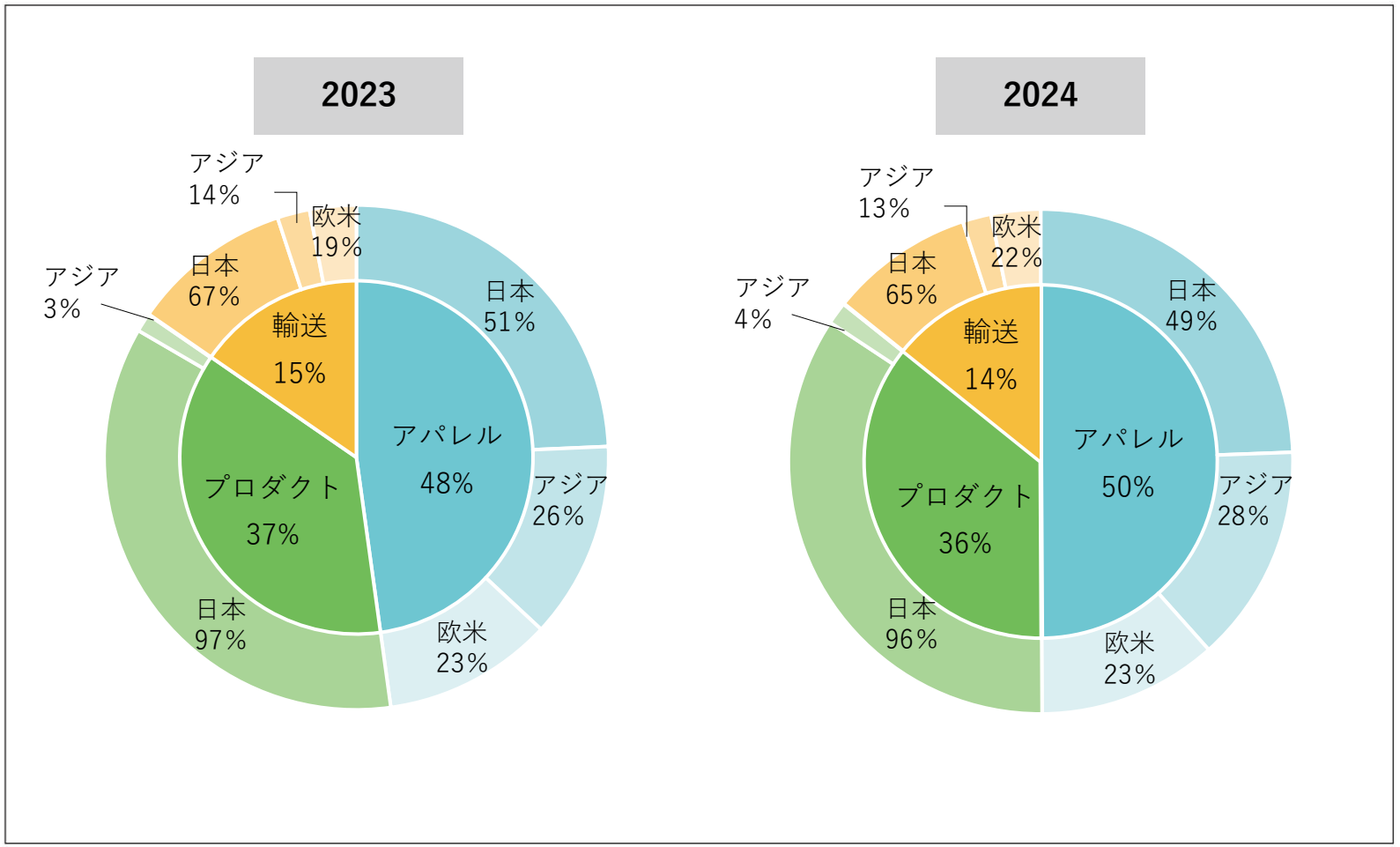
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
	2023				2024			
欧米	2	9	9	0	10	10	0	3
アジア	165	112	145	150	166	162	198	168
日本	4,752	4,271	3,914	4,322	4,513	3,800	3,846	4,525

	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
	2023				2024			
欧米	337	342	371	395	393	408	280	452
アジア	186	293	247	281	359	185	187	159
日本	1,201	1,243	1,195	1,373	1,169	1,122	1,080	1,105

© 2025 MORITO CO.,LTD.

(参考)2024年11月期　地域別×事業別　売上構成

アパレル関連事業はアジアでの地産地消ニーズが増加、輸送関連事業は北米が増加。



© 2025 MORITO CO.,LTD.

（参考）2024年11月期　セグメント別売上高

（単位：百万円）

2024　実績								
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	構成比	増減額	増減率
日本	8,195	8,090	7,825	8,900	33,012	68.0%	-1,058	-3.1%
アジア	1,969	2,084	2,169	2,149	8,372	17.2%	+667	+8.7%
欧米	1,579	1,829	1,881	1,861	7,151	14.7%	+398	+5.9%
合計	11,744	12,005	11,875	12,911	48,537	100.0%	+7	+0.02%

2023　実績								
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	構成比	増減額	増減率
日本	8,502	8,825	7,901	8,840	34,070	70.2%	+554	+1.7%
アジア	1,719	1,864	1,739	2,382	7,705	15.9%	-634	-7.6%
欧米	1,582	1,654	1,762	1,754	6,753	13.9%	+131	+2.0%
合計	11,804	12,343	11,402	12,977	48,529	100.0%	+51	+0.1%

© 2025 MORITO CO.,LTD.

3

2025年11月期 通期業績予想

© 2025 MORITO CO.,LTD.

2025年11月期　通期業績予想

第8次中計目標必達のため、収益性に加え、売上高の成長に重点を置き、各投資も積極的に実施。

（単位：百万円）

	2024年11月期 実績	2025年11月期 実績	増減	前年比
売上高	48,537	53,000	+4,463	+9.2%
営業利益	2,868	3,100	+232	+8.1%
（%）	5.9%	5.8%		
経常利益	3,003	3,200	+197	+6.6%
（%）	6.2%	6.0%		
当期純利益	2,572	2,700	+128	+5.0%
（%）	5.3%	5.1%		

※Ms.IDの9か月分の数字を織り込み済み、今後PMIを経て、
シナジー創出・利益率アップも目指す。

© 2025 MORITO CO.,LTD.

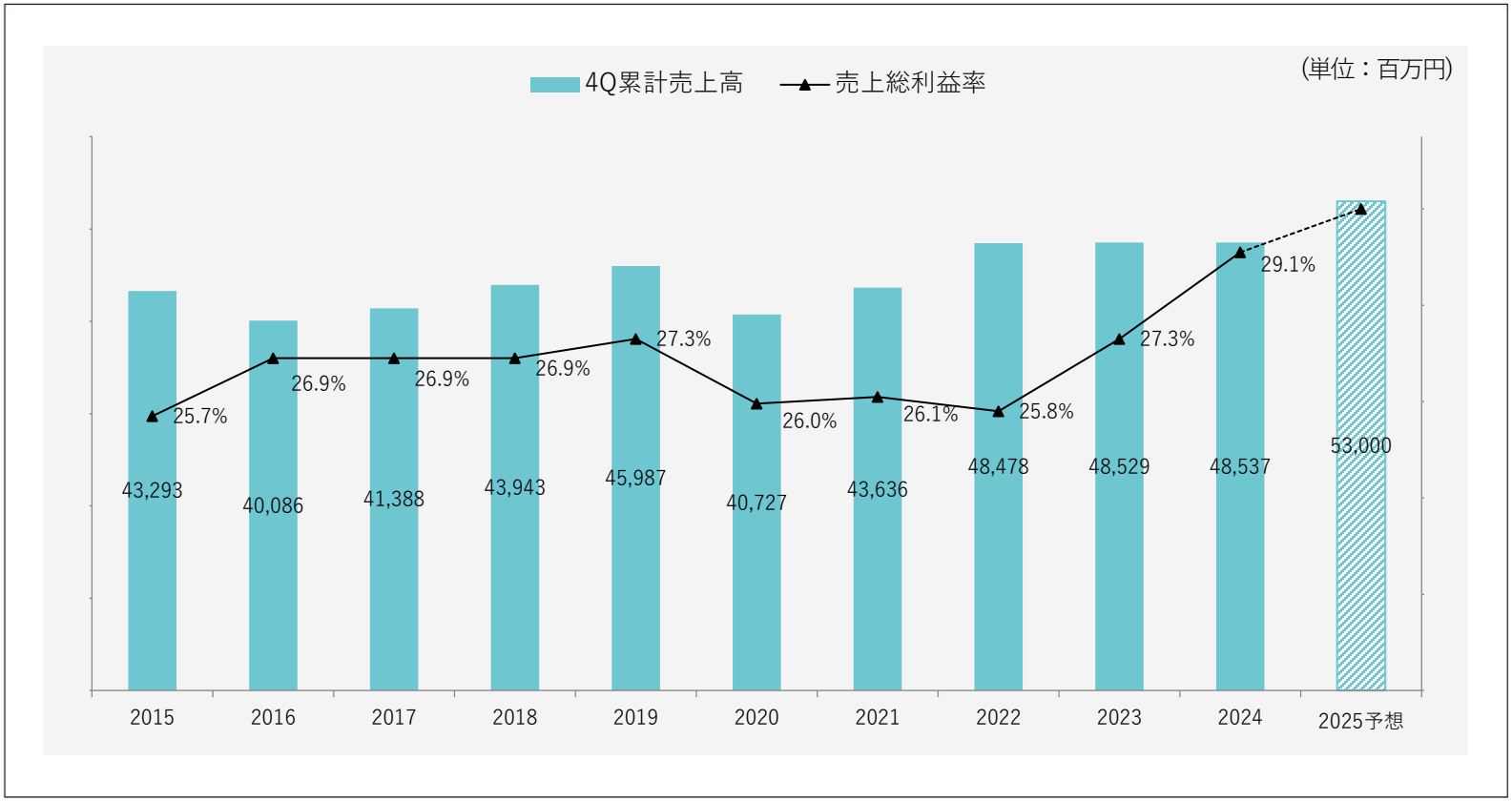
2025年11月期　通期外部環境想定

アパレル関連事業	**日本**	在庫調整は2024年11月期より回復するものの、影響は継続見込み。四季から五季「春・夏・猛暑・秋・冬」というトレンドへアパレル市場が変化しつつある。環境配慮型商品は堅調。地産地消ニーズの高まりも継続。インバウンド需要はMs.IDに追い風。
	アジア	欧米向け商品は好調を見込む。中国市場での地産地消ニーズは継続、その他ASEAN地域での拡大を狙う。
	欧米	需要の増加により販売数が増加見込み。
プロダクト関連事業	**日本**	均一価格小売店向け商品は順調に推移。新サービスセンター稼働により厨房機器関連サービス事業は堅調な推移を見込む。スノーボードなどアクションスポーツ関連は、暖冬・在庫調整により厳しい状況。新規DtoCビジネス立ち上げ準備を開始。
輸送関連事業	**日本**	日系自動車メーカーの国内生産は大きな増加を見込まず、国内売上はほぼ横ばいを予想。
	アジア	中国市場での日系自動車メーカー苦戦で、売上増加は厳しい状況。
	欧米	北米での新車種向け量産部品による売上増を見込む。

© 2025 MORITO CO.,LTD.

2025年11月期　売上高・売上総利益率の推移予想

Ms.ID子会社化に加え、従来の筋肉質な利益体制を維持＋付加価値のアピールにより、売上総利益率の向上を目指す。



© 2025 MORITO CO.,LTD.

4

第8次中期経営計画の進捗

© 2025 MORITO CO.,LTD.

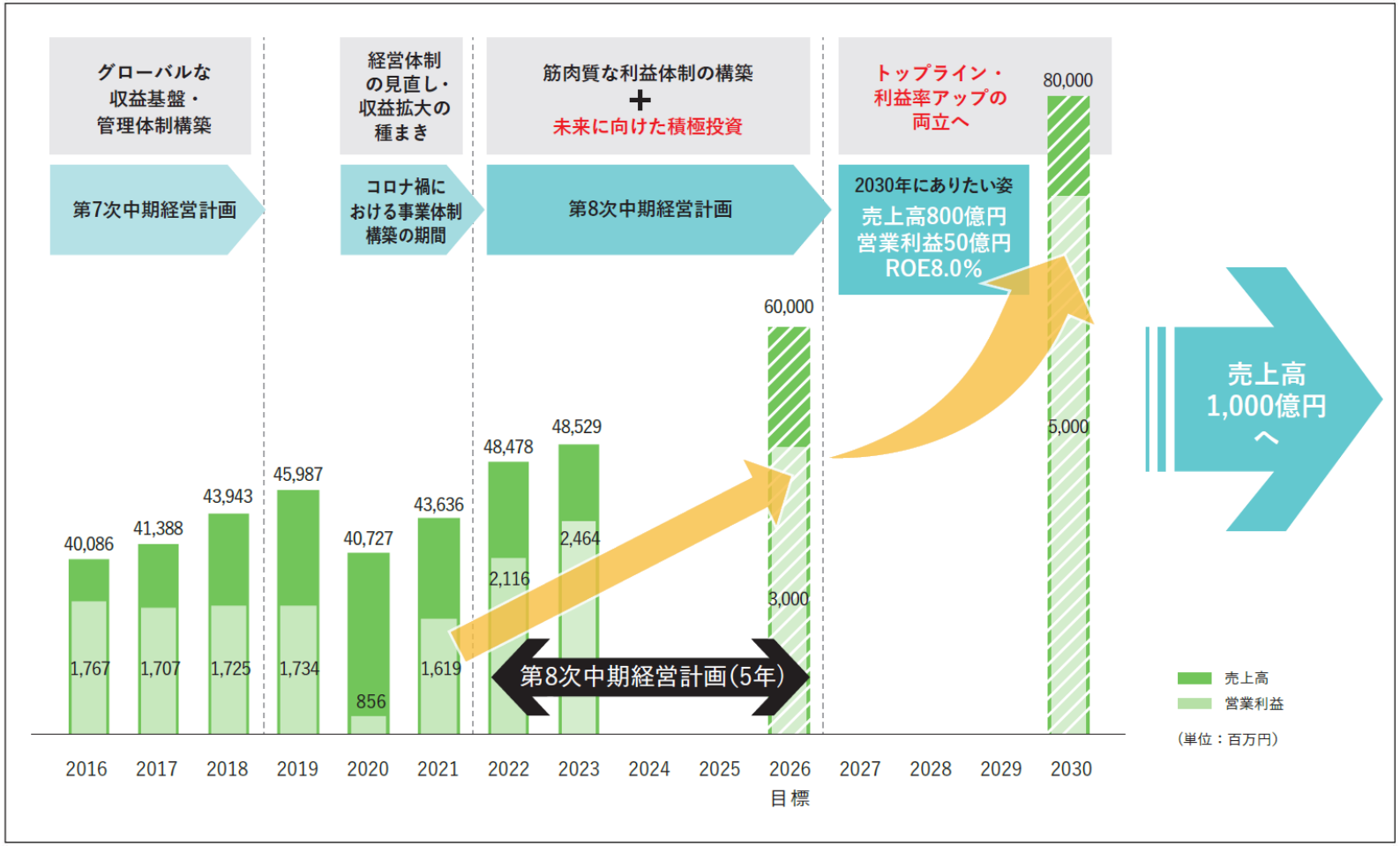
中長期方針　モリトが目指す姿

小さなパーツで世界を変え続ける
グローバルニッチトップ企業

© 2025 MORITO CO.,LTD.

第8次中期経営計画　長期目標売上高1,000億円に向けて

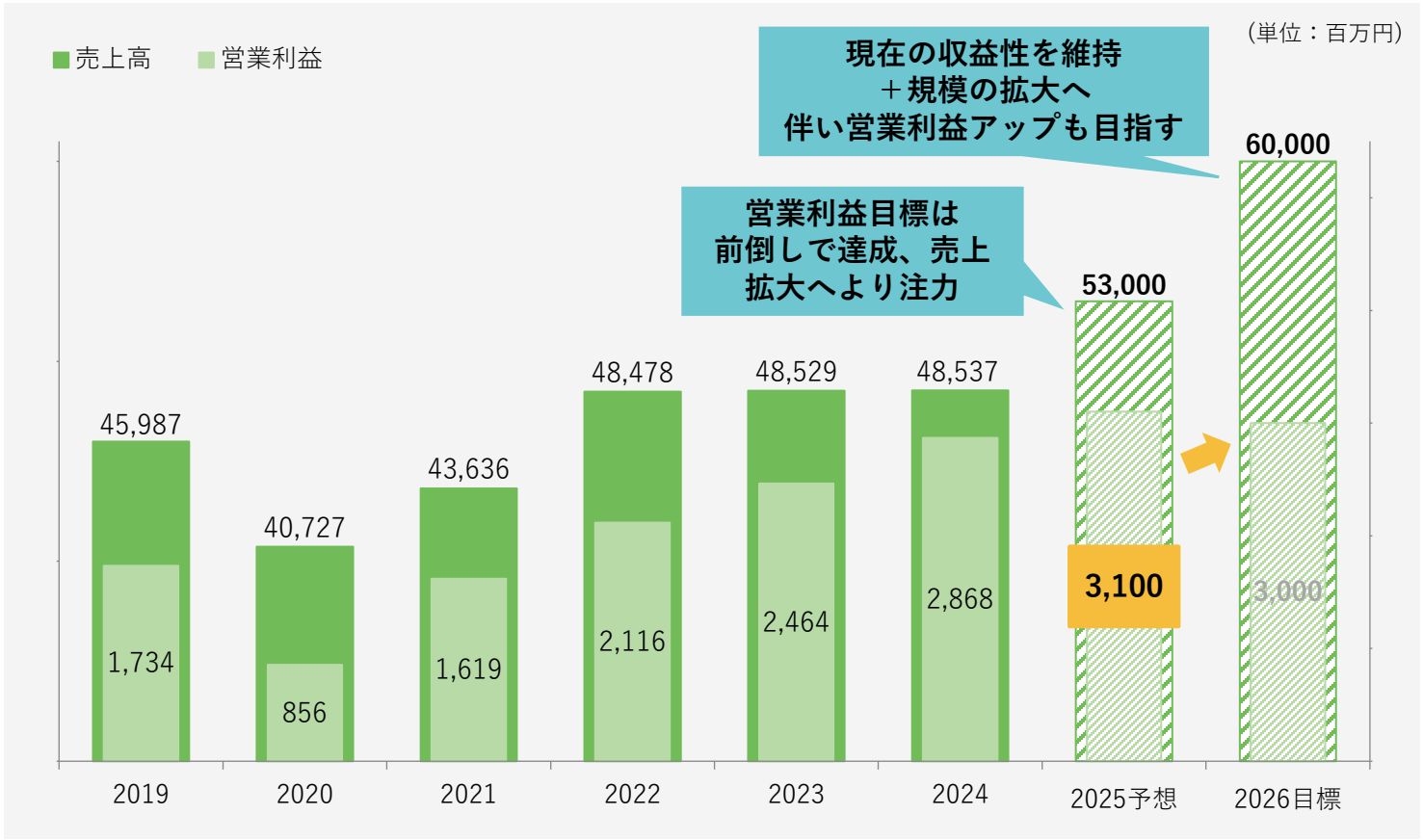
収益性は維持しつつ、売上規模の拡大を目指した取り組み・積極投資を実施していく。



© 2025 MORITO CO.,LTD.

第8次中期経営計画の進捗　【財務数値目標】

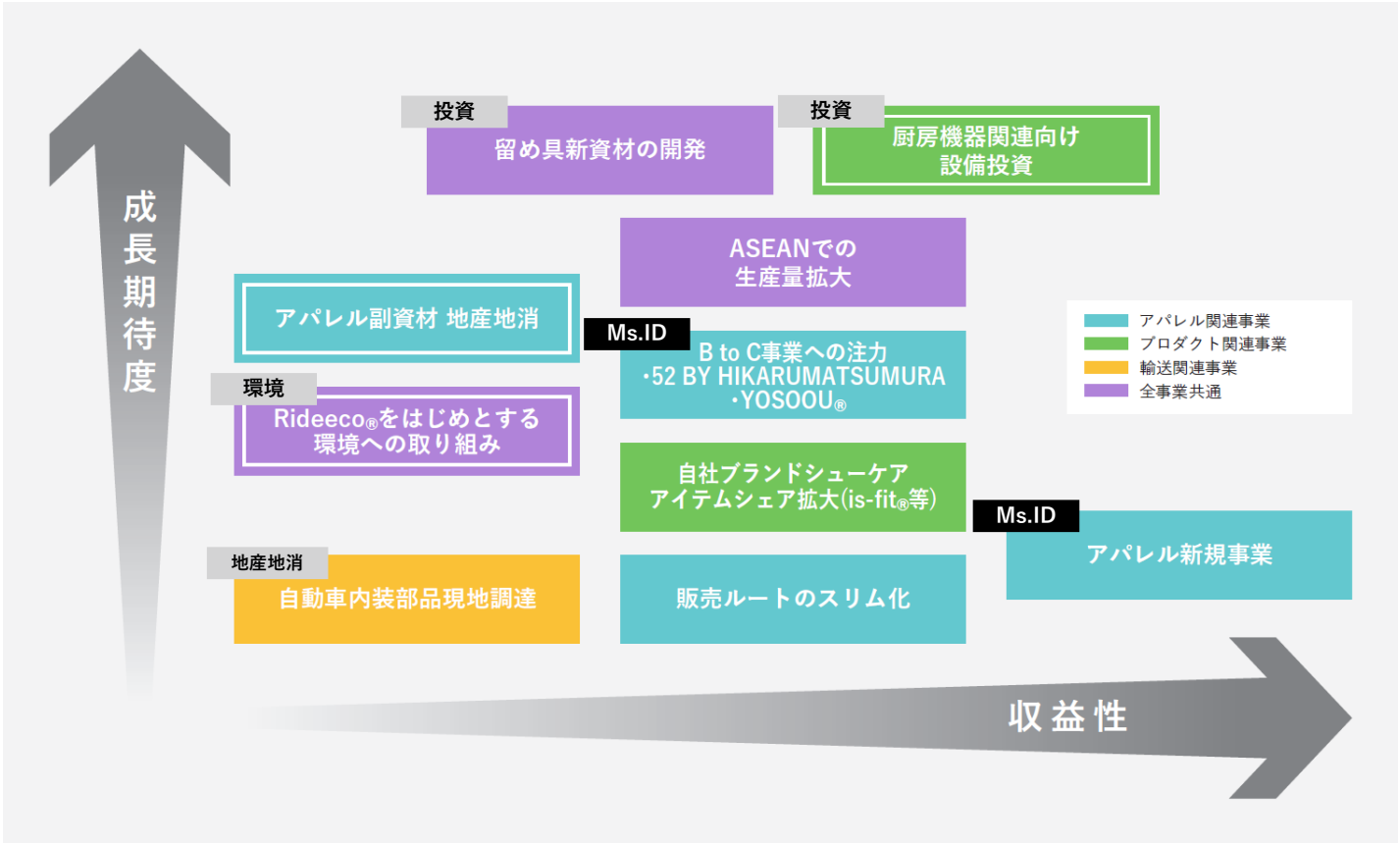
2025年11月期に営業利益目標は前倒しで達成を見込む、売上高600億円を目指し中計の戦略を遂行。



© 2025 MORITO CO.,LTD.

第8次中期経営計画 達成に向けた成長戦略の全体図

成長戦略の中で特に進捗があったものにアイコンを表示、Ms.ID子会社化が注目ポイント。



以下のページに詳細を掲載→　Ms.ID：P24～P27　環境：P28　投資：P29

© 2025 MORITO CO.,LTD.

第8次中期経営計画の進捗　【Ms.ID取り扱いブランド】

海外市場を持ち、インバウンド需要も高いEC販売中心のブランドをアパレル関連事業/BtoC事業の新たな柱へ。

SELECT MOCA	EC専業で高い顧客認知を持つレディースアパレルブランド。デザインと価格帯のバランスで20～40歳前半と幅広い年齢層を顧客に抱える。
TEN.	シンプルながら有機的なデザインと高純度の銀素材で、ファッション感度の高い顧客から日常使いに人気を集めるアクセサリブランド。
C.T.plage	欧州各国の有名ショップで取り扱われるパリ生まれのニットブランド。高級素材が手の届きやすい価格帯で提供される商品が特徴。
ECプラットフォーム事業	EC販売のノウハウを活かし、他のブランドのEC販売の委託を受ける。

© 2025 MORITO CO.,LTD.

第8次中期経営計画の進捗　【Ms.IDの強み】

EC特化のマーケティングノウハウを活かし、今後10年間で売上高100億円規模を目指す。

Ms.ID最大の強み

EC販売でファンを獲得する
マーケティングノウハウ

⬇

ECプラットフォーム事業に活用

各ブランドの強み

顧客基盤が確立、男性向け・海外展開など今後成長を見込むブランドの展開

〈SELECT MOCA〉
- ターゲット：20～40代女性
- EC専業で固定費少なく、効率的なブランド運営
- ZOZOTOWN、自社EC中心に固定ファンの獲得
- Ms.IDの売上高50%ほどを占める

〈TEN.〉
- ターゲット：20～40代男女＋インバウンド
- 百貨店等へ早期出店、競合ブランドに対する参入障壁
- 国内手作りの良質なシルバーアクセサリー
- アジアでも需要の増加、台湾へ店舗展開あり

〈C.T. plage〉
- ターゲット：フランスなど欧州が中心
- ファッションの中心でニット需要の高い欧州の販売基盤
- 上記を活かした海外展開拡大を目指す

© 2025 MORITO CO.,LTD.

第8次中期経営計画の進捗　【Ms.ID子会社化のシナジー】

【従来】BtoB事業メイン、顧客のニーズ・需要に応じて、パーツの生産・販売数量が決まる

↓

【今後】グループ横断の取り組みによりMs.IDが拡大し、パーツの生産・販売数量の増加を目指す
＝ BtoB事業メインの方針は変えない、アクティブな取り組み

モリト	Ms.ID
BtoC、EC販売の知見・人材獲得	グローバルな販売・品質管理・パーツ調達機能獲得

知見・人材

- BtoCのマーケティング、販売知見
- インバウンド需要取り込み手法
- EC、SNSでの顧客アプローチ手法
- 上記を持つ人材の獲得

コスト削減・効率化

- モリトからのグローバルなパーツ調達
- モリト拠点を活用したグローバルな物流
- モリトの品質管理機能活用

既存拡大

- Ms.IDへのパーツ調達
- 収益性の高いMs.IDのBtoC事業取り込み
- 既存BtoC事業へMs.IDの知見を活用した販売強化
- ブランドデザイナーのニーズ把握

既存拡大

- 欧州、アジアを中心にグローバル販売拡大

新商品開発　モリトのパーツ開発力・製造機能　×　Ms.IDのブランド・デザイン・企画力

© 2025 MORITO CO.,LTD.

第8次中期経営計画の進捗　【Ms.ID 数値情報など】

2025年11月期の業績予想に一部Ms.IDの数字も含める。

	株式会社Ms.ID
事業内容	服飾雑貨の製造・輸入・販売 （EC及び実店舗）
純資産	1,475 百万円
総資産	2,467 百万円
売上高	3,893 百万円
営業利益	442 百万円
経常利益	459 百万円
当期純利益	310 百万円

※Ms.ID 2024年8月期
　シーティー・アソシエイツ 2023年12月期　単純合算実績

2025年11月期業績予想への影響

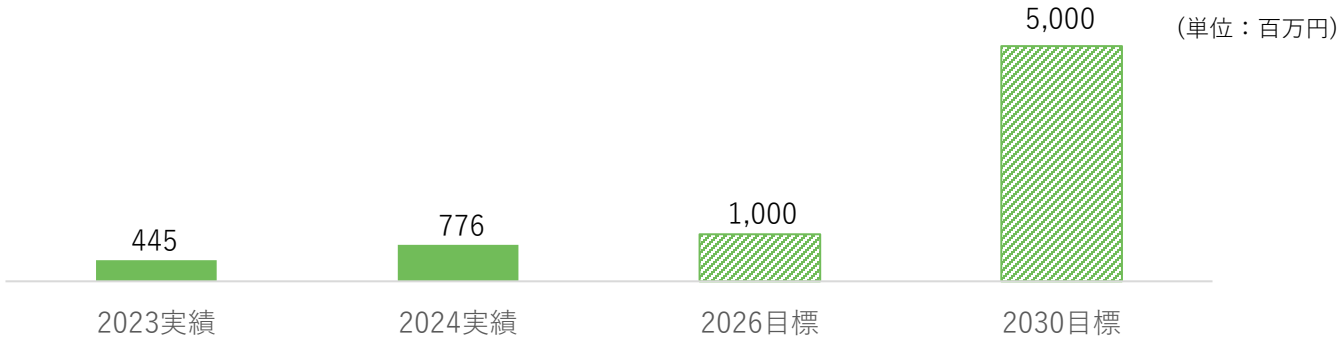
株式譲渡は2024年12月25日実施済

→2025年11月期 連結業績はMs.IDの9カ月分の数字を含む見込み、のれんは精査中

© 2025 MORITO CO.,LTD.

第8次中期経営計画の進捗　【成長戦略：環境への取り組み】

廃漁網を活用した生地・資材、縫製工場で出るはぎれを原料とした混抄紙ASUKAMI®など、サステナブル関連プロジェクトRideeco®の関連商品の増加により、堅調に推移。
2025年11月期は、MURONの本格販売・サステナブル商品開発のための新部署設立など、中計で掲げる売上高10億円を目指し、引き続き注力。



〈2024年11月期 実績紹介〉

廃漁網由来の再生原料を一部に利用した生地が〈BEAMS GOLF〉のアイテムに採用

国内で回収された廃漁網を100%使用してリサイクルされた糸「MURON」開発

MURONを使用した生地が、ANREALAGE（アンリアレイジ）がパリ・コレクションで発表したルックの服地に採用

© 2025 MORITO CO.,LTD.

第8次中期経営計画の進捗　【投資戦略】

純資産をコントロールしつつ、キャッシュを投資して利益を生み出し、ROE向上を目指す。

成長投資	2024～2026年11月期の投資合計金額	2024年11月期実績	
新商品　開発費	5億円	・高級アパレルブランドへの拡販のため個展開催	
環境負荷低減への取り組み	5億円	・アメリカ自社工場でのメッキ加工効率化 ・サステナブル商品の開発・拡販	
設備投資	6億円	・アメリカ自社工場での設備投資 ・厨房機器関連サービス 自社センター設立・設備強化	実績 11.1億円
BtoC強化	3億円	・52 BY HIKARUMATSUMURA・YOSOOUの広告宣伝 ・既存BtoC商品のラインアップ強化	
データ基盤整備、BI機能強化	5億円	・データ基盤整備、BI機能強化	
人的資本への投資	1億円	・従業員エンゲージメント向上を目指した取り組み	
M&A	50億	・Ms.ID子会社化 ・案件は増加中、今後も積極的に検討	
株主還元	60億	・基本方針に基づく配当、自己株式取得	実績 30.7億円

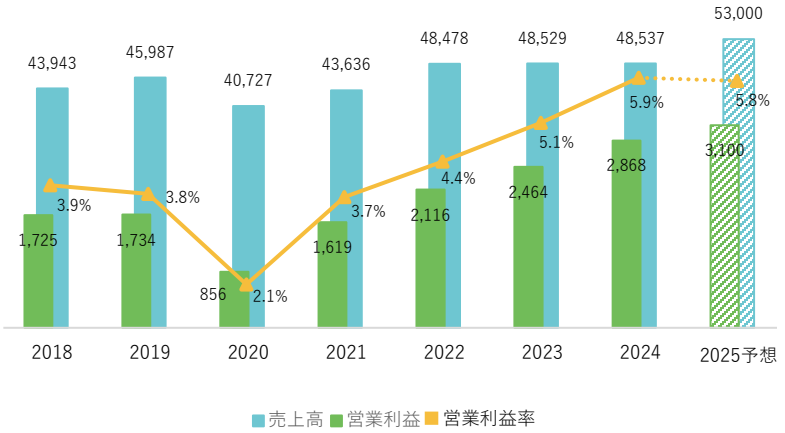
© 2025 MORITO CO.,LTD.

主要指標の推移

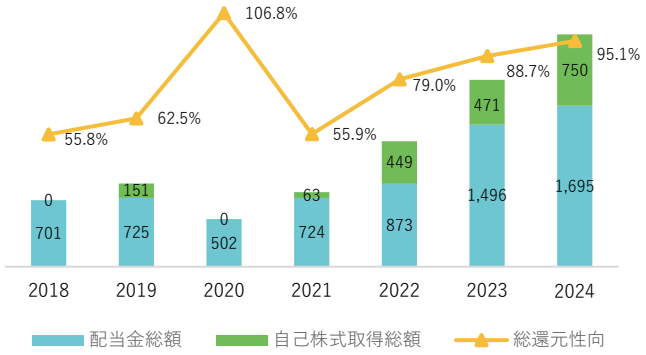
株主還元などにより純資産をコントロールしつつ、収益性の維持＋売上高向上でROE向上を目指す。

（単位：百万円）

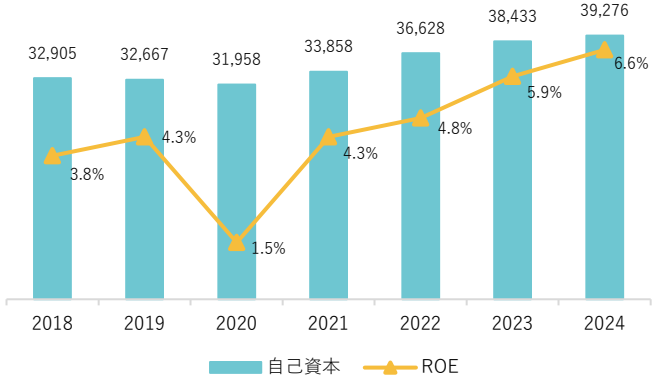
売上高・営業利益・営業利益率の推移



株主還元・総還元性向の推移



自己資本・ROEの推移



コメント

- **過去5年間で営業利益率は4%近くアップ**
- **利益率の維持＋今後売上高アップに注力**
- **今後Ms.IDのPMIを経て収益性拡大も目指す**
- **引き続き株主還元により自己資本の増加を抑制**

↓

ROEの継続的向上へ

© 2025 MORITO CO.,LTD.

（参考）第8次中期経営計画　財務数値目標

		2023年11月期 実績	2024年11月期 実績	2026年11月期目標
業績	売上高	485億円	485億円	600億円
	営業利益	24億円	28億円	30億円
資産・資本収益性	総資産	514億円	524億円	成長投資により拡大 ⬆
	純資産	384億円	392億円	株主還元により現水準維持 ➡
	有利子負債	14億円	11億円	成長投資への活用による増加 ⬆
	自己資本比率	74.7%	74.8%	有利子負債活用による低下 ⬇
	ROE	5.9%	6.6%	6.5%
株主還元	配当性向	66.2%	64.9%	利益成長による低下 ⬇
	DOE	3.9%	4.3%	4.0%
	自己株式取得	4.7億円	7.5億円	機動的に取得を検討 ➡
成長投資	投資額	5.4億円	11.1億円 ※M&Aは除く	25億円 ※2024~2026年11月期の合計

© 2025 MORITO CO.,LTD.

5

事業トピックス

© 2025 MORITO CO.,LTD.

「Standard Products」向け商品　2024年グッドデザイン賞の獲得

株式会社大創産業が運営する「Standard Products」で販売されている洗顔用固形石けんの開発に、モリトジャパン社員が携わり、2024年グッドデザイン賞を獲得。

国内生産で、美容成分・製法にこだわったアイテム

グッドデザイン賞を受賞した洗顔石けん３種類

© 2025 MORITO CO.,LTD.

(参考)メディア掲載情報

●公認会計士ひねけん氏による企業研究動画が公開
https://www.youtube.com/watch?v=0x3l83R2c0s&feature=youtu.be

●廃漁網のリサイクルの取り組みが読売新聞に掲載
https://www.yomiuri.co.jp/life/20241111-OYT8T50113/

●BSJapanext「諭吉の食卓」に当社社員が出演
※2025年1月より番組名が「マネーリーダー!!!」へ変更
番組サイト：https://www.bs10.jp/program/hobby_travel/hobby/moneyleader/

●「STORY web」にBtoCブランドYOSOOUが掲載
https://storyweb.jp/fashion/470164/

© 2025 MORITO CO.,LTD.

6

株主還元策

© 2025 MORITO CO.,LTD.

利益配分に関する基本方針

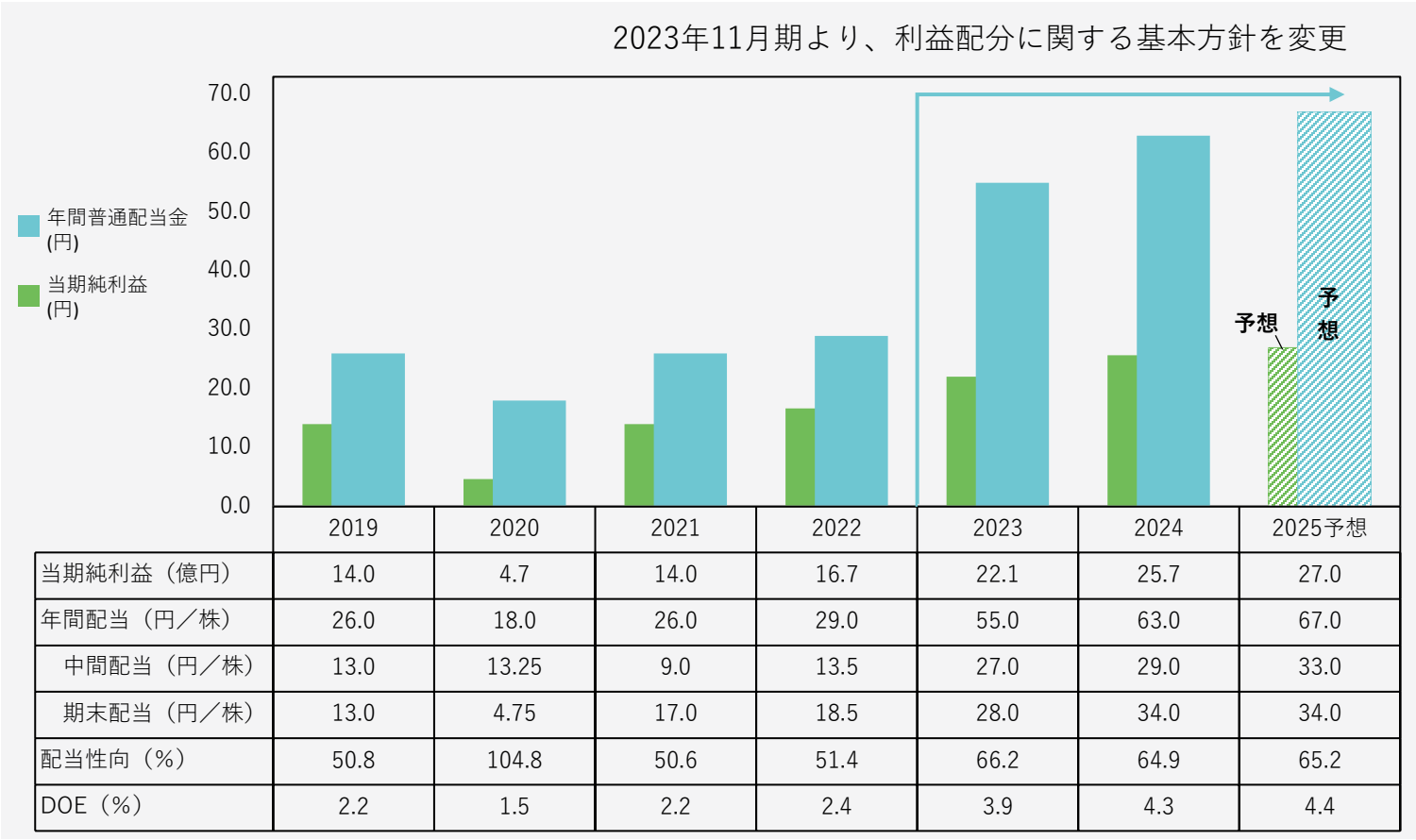
株主に対する利益還元を経営上の重要課題のひとつと位置付け、投資案件および財務状況（純資産等）を勘案の上、下記の方針に基づき、配当額を決定。

機動的な自己株式取得および適切な消却の実施を引き続き検討

※ ただし、特別な損益等の特殊要因により税引後の親会社株主に帰属する当期純利益が大きく変動する事業年度についてはその影響を考慮し配当額を決定します。

© 2025 MORITO CO.,LTD.

配当金・配当性向・DOEの推移



	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025予想
当期純利益（億円）	14.0	4.7	14.0	16.7	22.1	25.7	27.0
年間配当（円／株）	26.0	18.0	26.0	29.0	55.0	63.0	67.0
中間配当（円／株）	13.0	13.25	9.0	13.5	27.0	29.0	33.0
期末配当（円／株）	13.0	4.75	17.0	18.5	28.0	34.0	34.0
配当性向（%）	50.8	104.8	50.6	51.4	66.2	64.9	65.2
DOE（%）	2.2	1.5	2.2	2.4	3.9	4.3	4.4

© 2025 MORITO CO.,LTD.

自己株式取得に係る事項の決定について

2025年1月14日の取締役会にて、以下のとおり自己株式取得に係る事項を決議。

自己株式の取得を行う理由

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行(純資産のコントロールによるROE向上)及び株主還元策の一環として実施

取得に係る事項の内容

取得する株式の総数	**1,200,000株(上限)** 発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合：4.5%
株式の取得価額の総額	**2,000百万円(上限)**
自己株式の取得期間	2025年1月15日から2026年1月14日

(ご参考)2025年1月14日時点の自己株式の保有状況

発行済株式総数(自己株式を除く)：26,712,791株
自己株式数：3,287,209株

© 2025 MORITO CO.,LTD.

7

（参考資料）会社概要

© 2025 MORITO CO.,LTD.

モリトグループの価値観

創業理念

積極・堅実

経営理念

パーツでつなぐ、あなたとつながる、未来につなげる

経営ビジョン

存在価値を創造する、
あたらしい「モリトグループ」の実現

© 2025 MORITO CO.,LTD.

会社概要

●1908年創業

・大阪にてハトメ・ホックの仲買商として開業
・その後、マジックテープ®など服飾の付属品、
自動車内装部品の販売を中心に拡大

ハトメ

ホック

●製造機能も併せ持つメーカー的機能を持つ商社

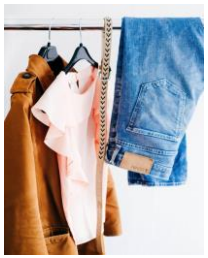
・企画・開発から製造に加え、卸・流通までを
一貫して手掛ける専門商社
・世界に21拠点展開

マジックテープ®

※ハトメ：靴・衣類などに紐を通す穴に
取り付ける環状の金具

●3つの事業を展開

・アパレル関連、プロダクト関連、輸送関連が事業の柱
・自社生産30%、調達70%ほどの構成



© 2025 MORITO CO.,LTD.

事業別詳細

アパレル関連事業

〈取扱い商品例〉

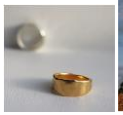
ホック

マジックテープ®

ボタン

テープ

ハトメ・靴紐



自社ブランド製品

活用例

カジュアルウェア・シューズ
スポーツウェア・シューズ
ワーキングウェア・シューズ
メディカルウェア
ベビーウェア
フォーマルウェア・シューズ
バッグ・アクセサリー
レディースウェア

プロダクト関連事業

〈取扱い商品例〉

マジック
テープ®

樹脂パーツ

インソール

ストラップ

スケートボード・
スノーボード・
サーフィン

自社ブランド

活用例

インソール・シューケア商品
カメラ/PCケース・マウスパッド
等映像機器関連商品
サポーター
安全関連商品
教具・文具
スケートボード・サーフィン等
アクティブスポーツ関連商品

輸送関連事業

〈取扱い商品例〉

ホック

マジック
テープ®

ネット

エンブレム

トランク
フロアボード

活用例

自動車内装部品
鉄道・新幹線内装部品
航空機内装部品

© 2025 MORITO CO.,LTD.

モリトの強み

● 流行に左右されない、生活必需品向けのビジネスが多数

日常生活に欠かせないもののパーツを扱っているため、流行・景気に左右されにくく、
継続的に販売ができるビジネスが多数。

● ポートフォリオが分散して安定した業績

アパレル・プロダクト・輸送関連の3つの事業を柱に、ワールドワイドに事業を展開。
オイルショックやリーマンショック、新型コロナウイルス感染拡大の影響などがあっても、
赤字にならず安定した業績を維持。

● ニッチ分野をターゲットに、多彩なアイテムで高シェアをマーク

各業界分野でシェア率の高い商品多数。
金属ホックは日本で1位、世界でも1位、2位を争う。

● 製造・調達・販売をグローバルに展開

自社拠点以外にも、協力工場や代理店が世界各地にあり、
あらゆる顧客ニーズにできるだけ近くで対応。

© 2025 MORITO CO.,LTD.

本資料のお取扱いについて

本資料は、当社をご理解いただくために作成されたもので、
当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、
完全性を保証するものではありません。

本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき
当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。
そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されて
いる将来見通しとは大きく異なる結果となることがあることをご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ先　　〒541-0054　大阪市中央区南本町4-2-4
モリト株式会社　IR・広報部　　E-mail：ir©morito.co.jp

© 2025 MORITO CO.,LTD.

MORITO

あたりまえに、新しさ。

© 2025 MORITO CO.,LTD.